【一太郎 2018 編】

同じ言い回しを連発していないか確認するマル秘テク

小説やレポートなどを書いていると、似たような言い回しを何度も使ってしまうことがあ ります。意図的にフレーズを繰り返す場合は別ですが、漫然と同じことばを連発すると文 章が単調になり、稚拙な印象を与えることがあります。一太郎 2018 では、繰り返し出て くる「頻出語」をチェックする機能が登場しました。指摘された箇所の表現を改めるなど、 推敲や文章のブラッシュアップに役立ちます。

1. 文書を作成したら、[ツール-文書校正-頻出語チェック]を選択します。ツールパ レットの[校正]で、[頻出語]をクリックしても同様です。



2. [対象範囲]を文単位で設定します。例えば「2」文以内と設定すると、前後の「1」 文もチェックの対象範囲となります。ここでは「4」と設定します。[表示対象]で指摘 対象にする品詞の種類をオンにし、[OK]をクリックして頻出語のチェックを実行します。

暗 ら 4 1 X 17 to 待 3 5 た たった .17 17 L' 打頻出語チェック 年 開 0) 4 Э × Ł ば ・光年は、 クビットに座って、 1 ケッ 越 発 D 約 40 往 0 さ t ケット 指定した範囲内に頻出する語句を一覧表示します。 人で、 設計者でも ŀ の表情は、 復 n のすごく近いけれど、 兆 と交信する管制室の中 ţ た 対象範囲(S) 4 🗢 文以内( 1~100) キロメ 光の速度で4年かかる距 る間に地球では10 なら、 太陽 光に近 表示対象 片道 ☑ 動詞(V) □補助動詞(W) こある、 よく見えない 系の外に出る初めての地球人とな 1 F ☑形容詞(A) □補助形容詞(B) い速度を出すことができるロ 打ち上げを待って で 40 N ☑形容動詞(K) 僕 □名詞(N) ☑形式名詞(0) 年以 人間にとっては途方もな □代名詞(P) 年を ふだん使ってい 笹 **一**岡時生 には、 0 ☑副詞(D) E Ŧ 越える時間 は ☑連体詞(B) か 離のこと。 ☑ 接続詞(C) 隼 か (ささおか 初期化(E) □感動詞(1) Y 44 0 0) る。 てしまう が経 幼 るキロ OK キャンセル ヘルプ(日) 1.7 宇宙 なじて ~ • N で 毎年 をに 状 過 5 2 世

 $\downarrow$ 

3. 頻出語がある場合、「頻出語グループが〇個見つかりました。」というメッセージが表示されるので、「確認」をクリックします。



4. ジャンプパレットが開いて頻出語の一覧が表示されます。文書上では、頻出語グルー プごとにことばが色分けされた状態でマーク表示されます。

ファイル	編集表示	挿入	定告	野線	ツー	ll	ウィンド	¢ /	ルプ	JUS	r_PDF_	3													_					-
6	• 💾 🛃 • 🛛		· 🗐 • [	à *	x	1		5	Φ	S	) +													文字	l	1	▦		5	
基本	▼  游明朝(標準)		√ 10.0	(標準) 🗸	B	I	<u>u</u> •	A .	PI 10	l lil	TAB																			
ii o	i≡ 11 √	4								. 2	0 .									10										C
L18 + -	50 ××	×	-	-																										-
EA	頻出語	n		1.2.1				3.1		w.fr	12				14			2		1.		a. 1			1.1					-
72 (1	121		3	5	**	ルビ	に	たせ	r E	順	5	Č	日ケ	なる	待趣	28	S.	5	に用用	来	す	れば	4	5	地	13	소	る。	N	-1
617	22		7	F	5	市成	7	つれた日	7	別	T	-	7	合	17支	光射	æ	4	用	0	ę,	II,	4	5	水	フ見	古	借	A	17
[8 行	22		1 L	0	"	ĩ	Ŀ		-	ps	15	だ	ŀ	法	~	台	1000	往	ささ	5	約	\$	年	2	4	115	E E	202	S	D
1217	22		7	設	1	0)	2	人言	2	2	て	14	0	C	朝	15		復	n	.7	40	0	は	チ	0	7	5	進	A	1
317	こと		2	計	と	表	ŀ	で、	2	機		日山	愛	設	H	は		す	た	F	兆	す	2	3	<	1	"	h	ケ	7
2行	こと		0	者	交	情	(C	i B	i	見	力	-	称	T	を			3		な	+	C	光	Ł	9	1+	h	C	不	100
7行	22	- F	- 7	2	厚	12	座	合 1	8	スマ	>	4	12	5	以	早.		间	尤	5	12	SEL	vite	品	THE	2	TE.	12	Τ,	1
15行	こと		14	6	9	F	-	两个	Г	3	14	2	2	40	31	へた		+th	15	μ.	1	辺	迷症	E I	塚	7	17	3	4	
161T	22	- <b>-</b>	14	0	答	2	2	T: 1		म	Z	r	õ	斩	T	th		田田	La la	「清	k	17	Te	ife	か	•	14	k	#	
行	22		10	ň	制	<b>B</b>	\$T	41 "		100	足	0	Į.	開	血	×		To	速	10	N	n	4	23	持	ケ	朱	額	+	
行	22		特	僕	室	え	5	EF	1		E	本	た	発	5	0)		は	度	40	· •	2	4:	生	3	2	は	史	2	
24行	こと		別	``	0	な	E	出之	-		あ	体	日	0)	0	甲		10	を	年	人		カン	物	۹	2	``	E	タ	
2517	(7) ×	_	17	笹	中	1, 5	げ	3)			た	1ª	か	燃	1	羅		年	出	以	間	5	か	:05	水	2	4	C	1	
近い(	(3)	_ T	1 쇼	尚	IC .		を	初日	)		3	-1	6	将	n	E III		を	す	E	15	た	3	63	1st	2	光	初	T	
行	近い		至	時	は	E	待	8) I	E.		党	n	7	E,	8	思		越	C C	は	8	N	祀 white	3	仔	2	牛	80	17	
行	近いけれど	1 1 I	202	215	11:		7	CON	A		ガ	1	1	ter.	0	27		Z	2	22	2	便	開催	7)2	仕	La.	20	5	ler.	
2行	近い	_	i ii	+	T		1	th 1	5		14	Ó	ĩ	191	17	Z		いた	10	5	17	-	-	U I	9 2	5	the	+-	畳	
かかる	(2)	- F		ささ	0		3	球	<ul> <li></li> </ul>		10	ラ		13	4	檜		間	#	T	法	13	Z	n	2	恒	3	隐	南	
17	かかる		n	お	幼		0	人子			D	1	タ	航	.7	H		DS.	3	L	方	3	0	te	2	星	<u> </u>	系	U	
117	かかって	- 1	た	ガユ	な		$\sim$	2 7	151		7	~	1	法	r	形		経	12	ま	E	キ	宇	ų a	t	を	ブ	の	ケ	
見える	(8)	- 1		•	Ľ		N	なせ	H.		"	Can	F	を	8	状		過	ケ	5	な	11	宙	°	わ	Ŧ	D	91	7	
117	見える		10	2	3		×	S .			h	野	N	採	はよ	0		すっ	"	だっ	La	X	+	E.	か	わっ	キ	に	1 ×	
NT V=	見てない		成の	20	-C		1	版 1	t		T	2		用	t	4		3	7	0	肥	1	1		07	Su C	~	元	を打	
с С	見える		10	5	-		n	10, 9	2		3	15	書	-	70	1		L	2	)	離れ	L.	73		L.	恣見	h	4	TI	
17	見えない	T	h	が	õ		2	+ 2			Y	绿	1	L.	2	k		5	법	新	10	To	大		T	T	2	11	F	
417	見える		1	1.s	D		í	To	0		Ó	散	1	3	鬼	DS.		た	道	た	従	表	24		~		2	有	17º	
511	見たののほ	<b>6</b> 5					10	199				1		0				3.		207		22	17 E.				3	8.958		
://T	見んの	~																												
		> (	> D Shee	et I Shee	12			1	19	頁	行日	<b>芋</b>	130%	·		0			¢.										>	41.35
E	電入 アシストOFF 遊り	明朝,標準	10.0#" 心下																											

5. ジャンプパレットのことばをクリックすると、クリックした文章中のことばにカーソルがジャンプします。

- 大郎 · 1 ファイル	- [長い夏休 編集	、みの終わ 表示	りに.jtd *] 示 挿	λ	書式	野線	ツール	ウインド	¢ (	ヘルプ	JUST_P	PDF_3											_
	• 🗄	) 🛃	•	) (	ð • 🔓		× 1		5	Φ	2.											文 <del>字</del>	Ê
88 6	s <mark></mark> 随 ⊃ i≡	御朝(標 『1	準)		/ 10.0(#	[準) 🗸	BI	<u>U</u> •	<u>*</u> *	ШШ	20	AB							10			Ê	19
趙出語 🔹	+ 5 0	) & :	* ×		1				*	1.5	1.5	.+	1	10		- 455	*. *			. + .		2	
田 メ 小 小 田 本 二 2 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	○ 1 注意 く 4 間 項 出間 (12) こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと	11 つ 余 : : F T T い い い い	✓ 4	80 55 50 45 40 85 80 25 20 15 10 5 5 5 10 15 10	る。そしてそのそばには、特別に入室が許可された、10歳の少女、	ケットの設計者でもある、僕、笹岡時生(ささおか・ときお)がい	- ロケットと交信する管制室の中には、隼人の幼なじみで、このロルド越しの表情は、よく見えない。 B	にコクビットに座って、打ち上げを待っている。ヘルメットのシー	たった一人で、太陽系の外に出る初めての地球人となる彼は、すで	「「「「「「「「「」」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」、「」、「」、「」	<sup>20</sup> 噴射口が2機 <mark>見える</mark> 。 回	「「られていて、カメの後ろ足にあたる部分には、ロケットエンジンのメン」た。白いロケットの本体は、フルーのラインで鮮やかに編手	ロケットの愛称は、その見た目から「ブルー・タートル(=青いカ	なる方法で設計され、新開発の燃料と、新しい航法を採用している。	待機し、朝日を反射して輝く。これまでのロケットとはまったく異	発射台には、巨大なカメの甲羅を思わせる楕円形状のロケットがる。	5年、往復する間に地球では10年を越える時間が経過することにな	に開発された、光に近い速度を出すことができるロケットでも片道	来のロケットなら、片道で40年以上はかかってしまうだろう。新た	すと、約40兆キロメートル。人間にとっては途方もない距離だ。従れば、ものすごく近いけれど、ふだん使っているキロメートルで表	4 光年は、光の速度で4 年かかる距離のこと。宇宙サイズで考え	ひょっとすると人間に近い生物がいるかもしれない。回	地球にそっくりの環境を持つ。水が存在することもわかっていて、
16頁27行	見える		×		D Sheet	Sheet2	+			1	百 7行	11字	130%	- 0		-0	- 0	<					
6. 前	う後の	)頻	出語	を確	崔認	して	推敲	し、 	必要	要に、 1	応じ 。 +	て表	₹現	を改 、	(&) I	られ	まう	<b>F</b> .	z	2 (t) 1		<u> </u>	
噴射口が2機見える。 Ⅲ	られていて、カメの後ろ足にあたる部分には、ロケットエンジンの	>)」だ。白いロケットの本体は、ブルーのラインで鮮やかに縁取	ロケットの愛称は、その見た目から「ブルー・タートル(=青いカ	なる方法で設計され、新開発の燃料と、新しい航法を採用している。	<b>行機し、朝日を反射して輝く。これまでのロケットとはまったく異</b>	発射台には、巨大なカメの甲羅を思わせる楕円形状のロケットが	ଦ୍ ହ	<b>5</b> 年、往復する間に地球では10年を越える時間が経過することにな	に開発された、光に近い速度を出すことができるロケットでも片道	米のロケットなら、片道で40年以上はかかってしまうだろう。新た	<b>gと、約40兆キロメートル。人間にとっては途方もない距離だ。従</b>	れば、ものすごく近いけれど、ふだん使っているキロメートルで表	4 光年は、光の速度で4 年かかる距離のこと、宇宙サイズで考え	しいでとすると人間に似た生物カレるがもしれたし、 医	かたつことう こく見て火 ミニクズ ふらふう シル よう。 ヨー・	地球にそっくりの環竟を持つ。水が存在することもわかっていて、	いう星。「プロキシマ・ケンタウリ」という恒星をまわる惑星で、	人宇宙ロケットだ。行き先は、4光年先にある「プロキシマb」と	○準備が進んでいる。人類史上で初めて、太陽系の外に飛び出す有	NASAケネディ宇宙センターでは、恒星間ロケットを打ち上げ	プロローグ 団		あ ⊴ A IP El E IP El ✓

 $\downarrow$ 

7. 頻出語のマーク表示を消したいときは、[ツール-文書校正-頻出語チェックのマー クをクリア]を選択します。ツールパレットの [頻出語チェックのマークをクリア]また はジャンプパレットの [頻出語マークをクリア]をクリックしても同様です。 ■ -本部-[長い夏休みの終わりには 1

	「天い文小のの影わりに」は「																					
🖲 ファイル	編集 表示 挿	入	書式	罫線	7-	11(T)	ウイン	ドウ	NL	プ	JUST	_PDF_	3									
	・ 🖹 🛃・ 🧃	) (	- 10		≁ing	文書 スペル ハイフ:	<mark>文正(E)</mark> チェック( ネーショ)	( <u>K)</u> ン( <u>N</u> )	•		文書校1 指摘個月 文書校1	Eの実行 Fを連続 Eの設定	( <u>S</u> ) UTITE ( <u>O</u> )	E( <u>E</u> )								
開め	= 10 ✓ <	-				文書 添削( 日次/	要約( <u>S</u> ). 赤入れ) 索引(N	 )( <u>P</u> ) 1)	•		文 書校1 マーク表え マークで約	Eマークを 示設定( <u>)</u> 対込む(	:クリア( <u>)</u> [] [G]	<u>/</u> ])		F	r.	4	e.	Ţ.	10	
位置▲	頻出語 ^		-2	1.25		里语	₽ ## (W	1225	-	F	缅州镇利	- <u> マック(E</u>	)			6.1-		-7	e.	1.0	de.	115
~ 🗐 ZE (1	12)		3	7		入力	安定(1)		- 3		續出語F	1970	マークを	7J7(L)		類出	出語チェ	v007-	り表示	を消去し	ます。	
1頁6行	22	un -	z	F	2	拡張	裁能(V)			2	ビジネス	4語一見	Ē( <u>T</u> )			ĩ	射	E	5	発	n	
1頁8行	22		i	の	FR	感太(	B)			2	表記ゆれ	. <u>(N</u> )					台		往	さ	5	-
1頁12行	こと	2	て	設	0.00	(中)(十)(A)				2	文頭文末	€( <u>B</u> )				朝	に		復	れ	"	4
1頁13行	28	12	たの	司		オプション(の)				0	括弧(P).	10					11		J	TE	T	2
7 頁12行	12 7 h	<u>9</u>	の者でも			+ =	5 - 5 ( <u>5</u> )			5	] 読みやすさ( <u>R</u> )					E.	E		い日	*	3	1
7 貝17行	12 7 k	2.5	ぼ	5	P	7-9-	- X1 F(	D)		E	日本語書	辛書ユー	ティリティ	(J)		前	天		10	に	~	
11百16行1			に	あ	3	よ	て	系	÷	G	ビジネス	「語辞書	オーティ	リティし	D	L	な		地	近	片	
24百4行	72	<b>"</b> 3	は、	5	管加	S	+1	0)	は	-	12:1	2	Ó	- V7	初日	19	カ		球	12	迫	
24頁8行	22	<u></u>	₩4;	뿓	祠会	兄	打ち	ット	-			たた	本	見た	用	理ノ	D		14	速度	10	1
25頁24行	22	<b>`</b> ;	開	De	5	た	F	H	日本			あ	体	ĥ	0	2	甲		10	なか	年	
25頁25行	22		E	笹	中	63	げ	3	X			te	は	か	燃	2	羅		年	迅	以	Í
~ 📃 近い	(3)	° .	入	岡	IC.	0	を	初	0			3	- 911	6	料	れ	を		を	-3-	Ŀ.	1
1頁7行	近い		室	時	は、	42	待	3	長			部	1		Ł	tk	思		越	2	は	4
1頁9行	近いけれど	8 .	⊅š ∌⁄r	生	<i>tt</i> :		2	T	瀬			分	1	7	ter-	での	わよ		スノ	2	7)2	;
1頁12行	iftly		nT D	- F	Ť		1.5	tih	隼			it	0	1	利	1	セム		の時	75	273	1
▲ ■ かかる	5 (2)	- <del>-</del>		C.	1			10	人			10	-		U	1.5	11:		est.	5		1

 $\downarrow$ 

8. 頻出語のマークが消えます。なお、頻出語のマーク表示は文書に保存されないので、 文書を閉じると自動的にマーク表示は解除されます。

三本 ▼ 游明朝(	標準)		~ 10.0	(標準) 🗸	Тв	3 1	U.	<i>.</i>	- 14	Ы	hi	TAB																			-
l o ≣ ti	4 -	-	,			1		1	2		20		20	2	2		20	.1.	20	1	10	1	2	3		3	æ	15	.e	1	5
▲ 推測方象	<b>指</b> } 推入	63 55 53 45 40 85 80 28 20 15 10 5	る。そしてそのそばには、特別に入室が許可された、10歳の少女、	ケットの設計者でもある、僕、笹岡時生(ささおか・ときお)がい	ロケットと交信する管制室の中には、隼人の幼なじみで、このロ	ルド越しの表情は、よく見えない。回	にコクビットに座って、打ち上げを待っている。ヘルメットのシー	たった一人で、太陽系の外に出る初めての地球人となる彼は、すで	搭乗する宇宙飛行士は、日本人の長瀬隼人(ながせ・はやと)。	æ	噴射口が2機見える。 団	られていて、カメの後ろ足にあたる部分には、ロケットエンジンの	メ )」だ。白いロケットの本体は、ブルーのラインで鮮やかに縁取	ロケットの愛称は、その見た目から「ブルー・タートル(=青いカ	なる方法で設計され、新開発の燃料と、新しい航法を採用している。	待機し、朝日を反射して輝く。これまでのロケットとはまったく異	発射台には、巨大なカメの甲羅を思わせる楕円形状のロケットが	る。	5年、往復する間に地球では10年を越える時間が経過することにな	に開発された、光に近い速度を出すことができるロケットでも片道	来のロケットなら、片道で40年以上はかかってしまうだろう。新た	すと、約40兆キロメートル。人間にとっては途方もない距離だ。従	れば、ものすごく近いけれど、ふだん使っているキロメートルで表	4 光年は、光の速度で4 年かかる距離のこと。宇宙サイズで考え	ひょっとすると人間に似た生物がいるかもしれない。田	地球にそっくりの環境を持つ。水が存在することもわかっていて、	いう星。「ブロキシマ・ケンタウリ」という恒星をまわる惑星で、	人宇宙ロケットだ。行き先は、4光年先にある「プロキシマb」と	る準備が進んでいる。人類史上で初めて、太陽系の外に飛び出す有	NASAケネディ宇宙センターでは、恒星間ロケットを打ち上げ	■プロローグ 创